

アジアティックハイブリッド系無花粉ユリ ‘秋田プチホワイト’ の花持ち特性

佐藤孝夫・柴田 浩・遠藤敦子*

(秋田県農業試験場・*山本農業改良普及センター)

Vase-life characteristic of pollenless Asiatic hybrid Lily ‘Akita petite-white’

Takao SATO, Hiroshi SHIBATA and Atsuko ENDOU *

(Akita Agricultural Experiment Station, * Yamamoto Region Agricultural Extension Station)

1 はじめに

秋田県農業試験場では県内花き生産の三大品目の一つであるユリの品種改良を行っている。ユリは葯やその中に形成される花粉粒が大きく、また花粉粒には油分が多く含まれているため、花卉や衣服に付着し、汚れが目立つ場合がある。このため、育種目標の一つとして、雄性不稔性を挙げ、花粉を形成しないユリを目標に品種改良を行っている。その中で 2002 年に白花、小輪系で花被片斑点が極少の雄性不稔性ユリ「秋田プチホワイト」の品種登録を完了し、現在のところ現地で試験的に市場出荷を行っている。最近、花きの消費の高まりとともに消費者からは花持ちのする花きが望まれるようになってきているため、育成品種「秋田プチホワイト」およびアジアティックユリの花持ち期間について検討した。

2 試験方法

試験は、2003 年に栽培は秋田農試ガラス温室(100m²)で、花持ち調査は恒温恒湿庫で行った。

(1) 供試品種 14 品種

アジアティック (AH) 系 12 品種: ‘秋田プチホワイト’ ‘イベルフローラ’ ‘グランドクルー’ ‘アビニオン’ ‘イエロージャイアント’ ‘ベアトリックス’ ‘ヒルデ’ ‘ソルベット’ ‘コネチカットキング’ ‘モナ’ ‘コートダジュール’ ‘サンセール’

LA 系 2 品種: ‘アプリコットウエーブ’ ‘ロイヤルハynes’

(2) 耕種概要および調査時期

球根は 2002 年 10 月 15 日に球周 12 ~ 14cm の球根をガラス温室に定植した。栽培管理は慣行に従って行った。花持ち試験は 2003 年 5 月 2 日 ~ 6 月 14 日まで品種別に行った。

(3) 調査方法

圃場で開花直前の蕾を切り取り、すぐに水道水を満たしたビーカーに入れた。実験室に持ち帰ったあと、小花梗の長さを 4cm に調節して切り取り、水道水を入れた φ 12mm × 120mm の試験管に入れ、温度 20 °C、照度 8,600lx、日長 12hr、相対湿度 70% に調節した恒温庫 (東洋製作所製 NA 1-5S) の中で開花経過を 24 時間毎に観察して、萎れ開始時期と落花日を調べた。1 品種につ

き、1 番花 ~ 2 番花の中から各 10 小花調査した。さらに、一部の品種では恒温庫内で開花した小花に開花当日、各々別の品種の花粉を受粉させて開花後の経過を観察した。

(4) 調査基準

萎れ開始日: 花卉の色素が変色あるいは脱色した日

落花日: 花卉萎縮後、花卉が離脱した日

3 試験結果および考察

(1) ‘秋田プチホワイト’ の花持ち期間

‘秋田プチホワイト’ の開花してから萎れ開始までの小花の花持ち期間は 8.2 日で、供試した 14 品種の中では最も花持ち期間が長かった (図 1)。

(2) ‘秋田プチホワイト’ の花卉落花の品種特性

ユリの花弁は萎れると、通常花弁が落花するが ‘秋田プチホワイト’ の花弁は、萎れ、変色して乾燥しても、恒温恒湿庫内では花弁に接触しない限り、萎れた花弁が落花することはない。

(3) 花卉落花の品種別特徴と分類

花弁の落花が見られない品種は、‘秋田プチホワイト’ 以外には、LA 品種の ‘アプリコットウエーブ’ があり、その他の供試した品種は全て萎れた後に花弁が落花した。花弁が落花する品種の中でも、萎れ始めてから数日後に落花する品種と、萎れ始めと同時に落花する品種が確認されたため、花弁の落花について、萎れ始めてから落花するまでの期間が数日要する品種群をタイプⅠに、萎れ始めると直ちに落花する品種群をタイプⅡに、花弁の落花が見られない品種群をタイプⅢに分類した (表 1)。

(4) 受粉による萎れ開始までの花持ち期間への影響

恒温恒湿庫内で強制受粉した後の花持ち期間を比較したところ、開花後に萎れ始めるまでの期間に対して受粉の有無による影響は見られなかった (図 2)。

(5) 受粉による落花までの花持ち期間への影響

強制受粉後の落花までの期間は、明らかに受粉区が早く落花した。また、上記で花弁の落花しないタイプⅢに区分した ‘アプリコットウエーブ’ は、受粉すると落花したが、‘秋田プチホワイト’ は、強制受粉しても花弁の落花は見られなかった (図 3)。

4 まとめ

無花粉のアジアティックハイブリッド系ユリ品種‘秋田ブチホホワイト’は、他のユリ品種よりも花持ち期間が長く、また、花卉が萎れても落花しないという特性を持っていることを確認した。無花粉性と花持ち特性との関連や、花卉の落花に作用しているエチレン生成量やエチレン感受性については今後検討が必要である。

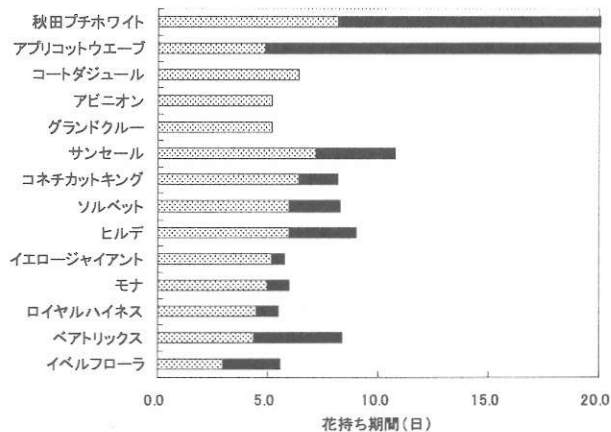


図1 品種別花持ち期間の比較

表1 花卉落花のタイプ別品種構成

品種群	花卉の萎れと落花との関連	品 種 名
タイプⅠ	花卉の萎れ開始から落花するまで数日間要する	イベルフローラ、ベアトリックス、モナ、イエロージャイアント、ヒルデ、ソルベット、コネチカットキング、サンセール、ロイヤルハynes
タイプⅡ	萎れ始めるとすぐに落花する	グランドクルー、アビニオン、コートダジュール
タイプⅢ	花卉が萎れても落花しない	アプリコットウエーブ、秋田ブチホホワイト

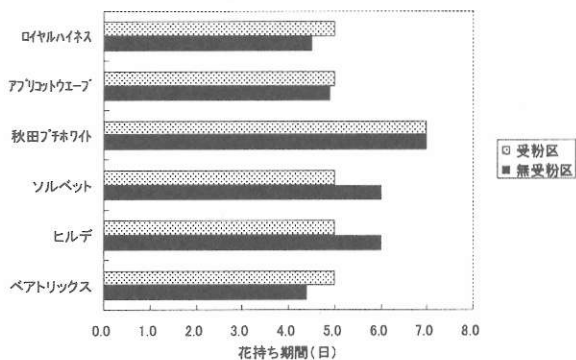


図2 受粉の有無による萎れ始めるまでの品種別花持ち期間比較

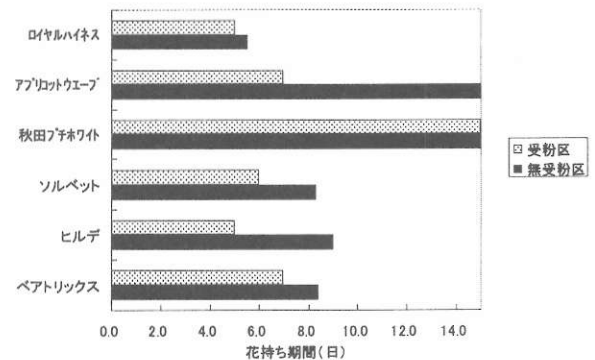


図3 受粉の有無による落花までの品種別花持ち期間比較